

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
稲敷市	江戸崎地区 (江戸崎Ⅰ、江戸崎Ⅱ、鳩崎、 君賀、高田)	2022年2月25日	

江戸崎地区	江戸崎Ⅰ	江戸崎、荒沼、犬塚、月出里
	江戸崎Ⅱ	村田、沼田、小羽賀、時崎、蒲ヶ山
	鳩崎	稲波、古渡（飛地）、佐倉、鳩崎、信太古渡
	君賀	上君山、下君山、松山、羽賀、羽賀沼、羽賀浦
	高田	高田、椎塚、駒塚、桑山

1 対象地区の現状

① 地区内の耕地面積	2273.6 ha
② アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	1293.6 ha
③ 地区内における70才以上の農業者の耕作面積	376.3 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	230.7 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	11.8 ha
④ 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	313.8 ha
(備考)	
市北西部に位置し、台地と低地が混在するエリアで、台地部ではカボチャやさつまいも等の畑作、低地部では水稻等が生産されている。また近年、稲波干拓、余郷入干拓、羽賀沼周辺ではレンコンの作付が増加している。	

※ 2対象地区の課題、3対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針については集落別に記載する。

集落名	江戸崎Ⅰ	江戸崎、荒沼、犬塚、月出里
-----	------	---------------

2 対象地区（集落）の課題

- 60代、70代の担い手が多く後継者も少ないため、今後担い手不足が想定される。
- 谷津田が多く日当たりや排水状況が悪いなど条件の悪い圃場が多く耕作放棄地が増えている。また、隣接圃場との段差が大きいため大区画化が難しいことから、作業の効率化の妨げになっている。
- 小規模農家が多く、農地の集積が進んでいるとは言えない。
- 担い手の耕作地が点在しており、集約化が進んでいない。

3 対象地区（集落）内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- 離農等で新たに発生する農地の貸借や団地化推進のための耕作地交換等の際には、農地中間管理事業を活用し中心経営体への農地の集積・集約に関する取り組みを推進する。
- 中心経営体等の担い手同士の話し合いを促進し、農地の集約化について検討する。
- 地域内の農業者を中心に後継者を育成し、将来的な経営モデルとして、20ha規模の水稲経営や水稲＋畑作の複合農業を推進する。また、兼業のあり方について検討する。
- 地域内で担い手の確保が難しい場合は、域外農業者の受け入れや新規就農者の育成・定着を図っていく。

集落名	江戸崎Ⅱ	村田、沼田、小羽賀、時崎、蒲ヶ山
-----	------	------------------

2 対象地区（集落）の課題

- 60代、70代の担い手が多く後継者も少ないため、今後担い手不足が想定される。
- 谷津田が多く日当たりや排水状況が悪いなど条件の悪い圃場が多く耕作放棄地が増えている。また、隣接圃場との段差が大きいため大区画化が難しいことから、作業の効率化の妨げになっている。
- 小規模農家が多く、農地の集積が進んでいるとは言えない。
- 担い手の耕作地が点在しており、集約化が進んでいない。

3 対象地区（集落）内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- 離農等で新たに発生する農地の貸借や団地化推進のための耕作地交換等の際には、農地中間管理事業を活用し中心経営体への農地の集積・集約に関する取り組みを推進する。
- 中心経営体等の担い手同士の話し合いを促進し、農地の集約化について検討する。
- 地域内の農業者を中心に後継者を育成し、将来的な経営モデルとして、20ha規模の水稲経営や水稲＋畑作の複合農業を推進する。また、兼業のあり方について検討する。
- 地域内で担い手の確保が難しい場合は、域外農業者の受け入れや新規就農者の育成・定着を図っていく。

集落名	鳩崎	稲波、古渡（飛地）、佐倉、鳩崎、信太古渡
-----	----	----------------------

2 対象地区（集落）の課題

<p>○60代、70代の担い手が多く後継者も少ないため、今後担い手不足が想定される。</p> <p>○谷津田エリアでは、日当たりや排水状況が悪いなど圃場条件が悪いため耕作放棄地が増えている。また、隣接圃場との段差が大きいため大区画化が難しいことから、作業の効率化の妨げになっている。</p> <p>○干拓地でも、小区画の圃場や隣接圃場と高低差がある場合があり、簡単に大区画化ができないことから、作業の効率化の妨げになっている。</p> <p>○小規模農家が多く、農地の集積が進んでいるとは言えない。</p> <p>○担い手の耕作地が点在しており、集約化が進んでいない。</p>
--

3 対象地区（集落）内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>○離農等で新たに発生する農地の貸借や団地化推進のための耕作地交換等の際には、農地中間管理事業を活用し中心経営体への農地の集積・集約に関する取り組みを推進する。</p> <p>○中心経営体等の担い手同士の話し合いを促進し、農地の集約化について検討する。</p> <p>○地域内の農業者を中心に後継者を育成し、将来的な経営モデルとして、20ha規模の水稲経営や水稲＋レンコン等の複合農業を推進する。また、兼業のあり方について検討する。</p> <p>○地域内で担い手の確保が難しい場合は、域外農業者の受け入れや新規就農者の育成・定着を図っていく。</p>
--

集落名	君賀	上君山、下君山、松山、羽賀、羽賀沼、羽賀浦
-----	----	-----------------------

2 対象地区（集落）の課題

<p>○60代、70代の担い手が多く後継者も少ないため、今後担い手不足が想定される。</p> <p>○水田エリアについては隣接圃場と高低差がある場合があり、簡単に大区画化ができないことから、作業の効率化の妨げになっている。</p> <p>○畑作エリアについては区画が小さい・傾斜がきつい・交通環境が悪いなどの条件の悪い畑もあり、耕作放棄地が増加している。また、近年鳥獣被害が増加している。</p> <p>○小規模農家が多く、農地の集積が進んでいるとは言えない。</p> <p>○担い手の耕作地が点在しており、集約化が進んでいない。</p>

3 対象地区（集落）内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>○離農等で新たに発生する農地の貸借や団地化推進のための耕作地交換等の際には、農地中間管理事業を活用し中心経営体への農地の集積・集約に関する取り組みを推進する。</p> <p>○中心経営体等の担い手同士の話し合いを促進し、農地の集約化について検討する。</p> <p>○地域内の農業者を中心に後継者を育成し、将来的な経営モデルとして、20ha規模の水稲経営や水稲＋畑作又はレンコン等の複合農業を推進する。また、兼業のあり方について検討する。</p> <p>○地域内で担い手の確保が難しい場合は、域外農業者の受け入れや新規就農者の育成・定着を図っていく。</p>
--

集落名	高田	高田、椎塚、駒塚、桑山
-----	----	-------------

2 対象地区（集落）の課題

- 60代、70代の担い手が多く後継者も少ないため、今後担い手不足が想定される。
- 水田エリアについては隣接圃場と高低差がある場合があり、簡単に大区画化ができないことから、作業の効率化の妨げになっている。
- 畑作エリアについては、耕作放棄地が増加しており近年鳥獣被害が増加している。
- 小規模農家が多く、農地の集積が進んでいるとは言えない。
- 担い手の耕作地が点在しており、集約化が進んでいない。

3 対象地区（集落）内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- 難農等で新たに発生する農地の貸借や団地化推進のための耕作地交換等の際には、農地中間管理事業を活用し中心経営体への農地の集積・集約に関する取り組みを推進する。
- 中心経営体等の担い手同士の話し合いを促進し、農地の集約化について検討する。
- 地域内の農業者を中心に後継者を育成し、将来的な経営モデルとして、20ha規模の水稲経営や水稲＋畑作の複合農業を推進する。また、兼業のあり方について検討する。
- 地域内で担い手の確保が難しい場合は、域外農業者の受け入れや新規就農者の育成・定着を図っていく。

中心経営体（江戸崎地区）

	属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
			経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
1	認農	A	水田農業	5.4 ha	水田農業	20.0 ha	江Ⅱ・鳩崎
2	認農	B	水田農業	10.3 ha	水田農業	10.6 ha	江Ⅰ
3	認農	C	水田農業	23.0 ha	水田農業	40.0 ha	江Ⅱ・鳩崎・君賀・柴崎
4	認農	D	水田農業	10.1 ha	水田農業	30.0 ha	鳩崎
5	認農	E	水田農業	11.5 ha	水田農業	20.0 ha	鳩崎
6	認農	F	水田農業	9.6 ha	水田農業	15.0 ha	高田
7	認農	G	水田農業	4.0 ha	水田農業	8.0 ha	高田
8	認農	H	水田農業	3.4 ha	水田農業	12.0 ha	高田
9	認農	I	水田農業・畑作農業	14.5 ha	水田農業・畑作農業	20.5 ha	江Ⅰ・江Ⅱ・鳩崎
10	認農	J	水田農業	44.2 ha	水田農業	50.0 ha	高田・柴崎・太田
11	認農法	K	水田農業	49.2 ha	水田農業	66.0 ha	高田・柴崎・太田
12	認農	L	水田農業	11.5 ha	水田農業	15.0 ha	高田・あ東・あ中・あ西
13	認農	M	水田農業	32.5 ha	水田農業	52.5 ha	高田・太田・あ西
14	認農	N	水田農業	50.0 ha	水田農業	55.0 ha	高田・あ南・あ北・あ中・あ西
15	認農法	O	水田農業	38.6 ha	水田農業	70.6 ha	高田・あ南・あ西
16	認農	P	畑作農業	0.6 ha	畑作農業	2.4 ha	江Ⅰ
17	認農	Q	水田農業・畑作農業	8.3 ha	水田農業・畑作農業	45.5 ha	江Ⅰ・江Ⅱ
18	認農	R	畑作農業	1.5 ha	畑作農業	1.85 ha	江Ⅱ
19	認農法	S	水田農業・畑作農業	20.9 ha	水田農業・畑作農業	40.7 ha	江Ⅰ・江Ⅱ・鳩崎・君賀・太田
20	認農	T	水田農業・畑作農業	2.0 ha	水田農業・畑作農業	12.0 ha	鳩崎
21	認農	U	水田農業・畑作農業	1.9 ha	水田農業・畑作農業	7.7 ha	君賀
22	認農	V	水田農業・畑作農業	5.6 ha	水田農業・畑作農業	9.0 ha	君賀
23	認農	W	水田農業・畑作農業	5.6 ha	水田農業・畑作農業	7.0 ha	高田
24	認農	X	水田農業	2.1 ha	水田農業	2.5 ha	江Ⅰ・鳩崎
25	認農	Y	水田農業	6.8 ha	水田農業	16.0 ha	江Ⅰ・鳩崎
26	認農	Z	水田農業	3.5 ha	水田農業	8.0 ha	鳩崎・高田
27	認農	A A	水田農業	18.9 ha	水田農業	20.8 ha	高田・柴崎・太田
28	認農	A B	水田農業	9.1 ha	水田農業	25.0 ha	高田・あ南・あ西
29	認農	A C	水田農業	19.1 ha	水田農業	21.4 ha	鳩崎・浮島
30	認農	A D	水田農業	4.8 ha	水田農業	7.5 ha	鳩崎・古渡
31	認農	A E	水田農業・畑作農業	3.9 ha	水田農業・畑作農業	20.3 ha	君賀・柴崎
32	認農法	A F	施設園芸	9.6 ha	施設園芸	9.6 ha	高田
33	認農法	A G	施設園芸	0.0 ha	施設園芸	9.0 ha	高田
34	認農	A H	施設園芸	— ha	施設園芸	— ha	江Ⅱ
35	認農法	A I	畜産	— ha	畜産	— ha	鳩崎
36	認農法	A J	畜産	— ha	畜産	— ha	江Ⅱ
37	認農法	A K	畜産	— ha	畜産	— ha	江Ⅱ
38	認農	A L	畜産	— ha	畜産	— ha	江Ⅰ
39	認就	A M	水田農業	0.5 ha	水田農業	1.0 ha	鳩崎
40	認就	A N	畑作農業	4.4 ha	畑作農業	7.7 ha	鳩崎
41	認就	A O	施設園芸	0.1 ha	施設園芸	0.1 ha	高田

42	認就	A P	畑作農業	1.0 ha	畑作農業	1.4 ha	高田
				447.9 ha		761.7 ha	